

案件概要書

2017 年 10 月 31 日

1. 基本情報

- (1) 国名：コートジボワール共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名
大アビジャン圏ココディ大学の対象医療圏（人口 178 万人）
- (3) 案件名：大アビジャン圏母子保健サービス改善のためのココディ大学病院整備計画（Projet d'aménagement du Centre Hospitalier Universitaire de Cocody pour l'amélioration du système de référence des soins de santé maternelle et infantile au Grand Abidjan）
- (4) 事業の要約：
ココディ大学病院母子保健棟を整備及び保健医療機材を供与することにより、同大学病院の体制強化を図り、もって大アビジャン圏の母子保健サービス体制の改善を通じたコートジボワールの安全で安定した社会の回復に寄与するもの。

2. 事業の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

コートジボワールは、西アフリカ経済通貨同盟（UEMOA）経済の 4 割を占める西アフリカ地域の大国であり、西アフリカ諸国経済共同体（ECOWAS）経済圏の安定・発展・地域統合の鍵を握るという重要性に鑑み、復興期にある同国への支援を通じ、社会安定、貧困削減、格差是正を行う必要がある。

コートジボワールは、国際場裏において常に我が国の基本的立場を支持する友好国である。我が国は、2013 年 5 月に「国際保健外交戦略」、2016 年 5 月にはユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）達成に向けた協力強化を表明しており、本計画はこれらの外交政策と合致する。また、我が国は TICADVI の機会に、「公衆衛生危機への対応能力及び予防・備えの強化」及び「アフリカにおける UHC 推進」を表明しており、本計画は同コミットメントの達成に貢献するものである。

- (2) 当該国における保健セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

コートジボワール共和国では内戦の影響により、2015 年の妊産婦死亡率（出生十万人対）が 645（サブサハラ平均 542）、新生児死亡率（出生千対）が 37.9（サブサハラ平均 28.0）と、母子保健指標は低水準である（WHO, 2016 年）。これら母子保健指標の改善のためには、妊産婦・新生児の継続ケアが必要であり、コミュニティから保健ピラミッド各層の医療施設までの適切な機能分担と有機的な連携を実現する広義のリファラル体制の強化が課題となっている。係る背景の下、同国政府は「国家保健開発計画 2016-2020」において、母子保健の改善を戦略軸の一つに掲げ、保健ピラミッド各層のマネジメント強化、医療施設の建設・改修・機材確保、妊産婦への統合的サービスの提供等を目指している。

大アビジャン圏をカバーする三次医療施設の一つであるココディ大学病院は 1970 年の設立後、内戦の影響により施設維持管理が十分でなく、施設等の老朽化は著しい。

特に分娩部門では医療機材（超音波診断装置等）の不足，不十分な衛生状態，自動水栓の欠如，酸素の供給が一部病室に限られるなど，高度な医療サービスを必要とする妊産婦及び新生児に適切な治療が提供できていない。また，ココディ大学病院のリファラル対象医療圏の一次及び二次医療施設の機能不足もあり，本来これら施設で対応すべき患者がココディ大学病院に集中し，高度治療を必要とする妊産婦及び新生児への対応が困難となっている。教育・研修機能を有すべき三次医療施設でありながら妊産婦・新生児ケアのモデルとなる保健医療サービスが提供されず，三次医療施設としての役割を果たすことができていない。

本計画は，三次医療施設であるココディ大学母子保健棟の整備を行うことで，先方政府及び他ドナー等が予定している一次・二次医療施設の整備支援とともに，大アビジャン圏における母子保健リファラル体制改善を図るものであり，同国の「国家保健開発計画 2016-2020」において優先度の高い事業として位置付けられている。

(3) 保健セクターに対する我が国の協力方針等と本計画の位置付け

我が国は「国際保健外交戦略」（2013 年 5 月）や「平和と健康のための基本方針」（2016 年 5 月）において，ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）達成に向けた協力強化を表明している。対コートジボワール共和国国別開発協力方針（2014 年 4 月）では，保健分野の改善支援を含む「安全で安定した社会の回復」を重点分野に位置付けている他，対コートジボワール共和国 JICA 国別分析ペーパー（2016 年 3 月）でも基礎的社会サービスの提供機能の回復への支援を重視している。本計画はこれら国際公約や我が国の援助方針・分析に合致する。また，無償資金協力「ココディ大学病院センター拡充計画」（1994-1995 年）において当該施設の改修及び機材整備を支援。

(4) 他の援助機関の対応

世界銀行はココディ大学病院のリファラル対象医療圏で二次医療施設全 4 か所及び一次医療施設 51 か所を対象に調査実施。その結果に基づき施設改修を支援予定。フランス開発庁は母子保健を中心とした保健システム強化を推進しており，トレシュヴィル及びヨブゴン大学病院のリファラル対象医療圏で計 2 か所の二次医療施設整備を支援中。

(5) 本計画を実施する開発政策上の意義

本計画は，同国政府の政策並びに我が国の協力方針・分析に合致し，母子保健サービスの改善に資するものであり，SDGs ゴール 3 で掲げる万人の福祉の促進に貢献すると考えられるため，事業の実施を支援する必要性は高い。

3. 事業概要

(1) 事業概要

① 事業の目的

ココディ大学病院の産科，新生児科の拡張及び機材整備を行うことにより，同病院の母子保健サービスの改善を図り，もって大アビジャン圏の母子保健サービスの改善を通じたコートジボワールの安全で安定した社会の回復に寄与するもの。

② 事業内容

【施設】ココディ大学病院母子保健棟の拡張整備：産科（分娩室，産前・産後健診

用診察室，観察病室，手術室含む），新生児科（救急室，手術室，集中治療室含む）及び小児科。総延べ床面積約 10,000 平米。

【機材】超音波診断装置，分娩台，保育器，滅菌器，麻酔器，手術用機材等

③ 他の JICA 事業との関係

特になし。

(2) 事業実施体制

① 事業実施機関／実施体制

保健公衆衛生省施設機材局（Ministère de la Santé et Hygiène, Direction des Infrastructures, de l'Équipement et de la Maintenance）

② 他機関との連携・役割分担

特になし。

③ 運営／維持管理体制

保健公衆衛生省施設機材局，ココディ大学病院。老朽化しているものの既存機材等を活用し必要な手術，新生児ケアを提供しており一定の維持管理能力は有するが，詳細については協力準備調査にて確認する。

(3) 環境社会配慮

① カテゴリ分類 ☐A ☐B ☒C ☐FI

② カテゴリ分類の根拠：

本計画は，「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）上，環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

(4) 横断的事項

・貧困対策・貧困配慮案件：本計画は貧困層の保健医療サービスアクセス向上に資する。

・エイズ等感染症対策案件：本計画は保健医療サービスへのアクセス向上を促進するため，感染症対策にも資する。

(5) ジェンダー分類

ジェンダー活動統合案件

(6) その他特記事項

対コートジボワール共和国国別開発協力量針において，本計画及び現在検討中の他案件を，「UHC 推進プログラム」として再編成する方向で議論中。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

ベナン共和国向け無償資金協力「ラギューン母子病院整備計画」（2012 年）の事後評価等では，施設整備と併せ総合的品質管理手法（5S-KAIZEN）の段階的導入が病院環境の改善に寄与したとされた。本計画においても，母子保健棟の整備と並行して 5S-KAIZEN 手法を用いてココディ大学病院関係者の能力向上を図り，病院環境の改善に努め，三次医療施設として適切な母子保健サービスが提供できるように計画する。

以 上

〔別添資料〕地図

大アビジャン圏母子保健サービス改善のためのココディ大学病院整備計画 地図

図1 コートジボワール及びアビジャンの位置

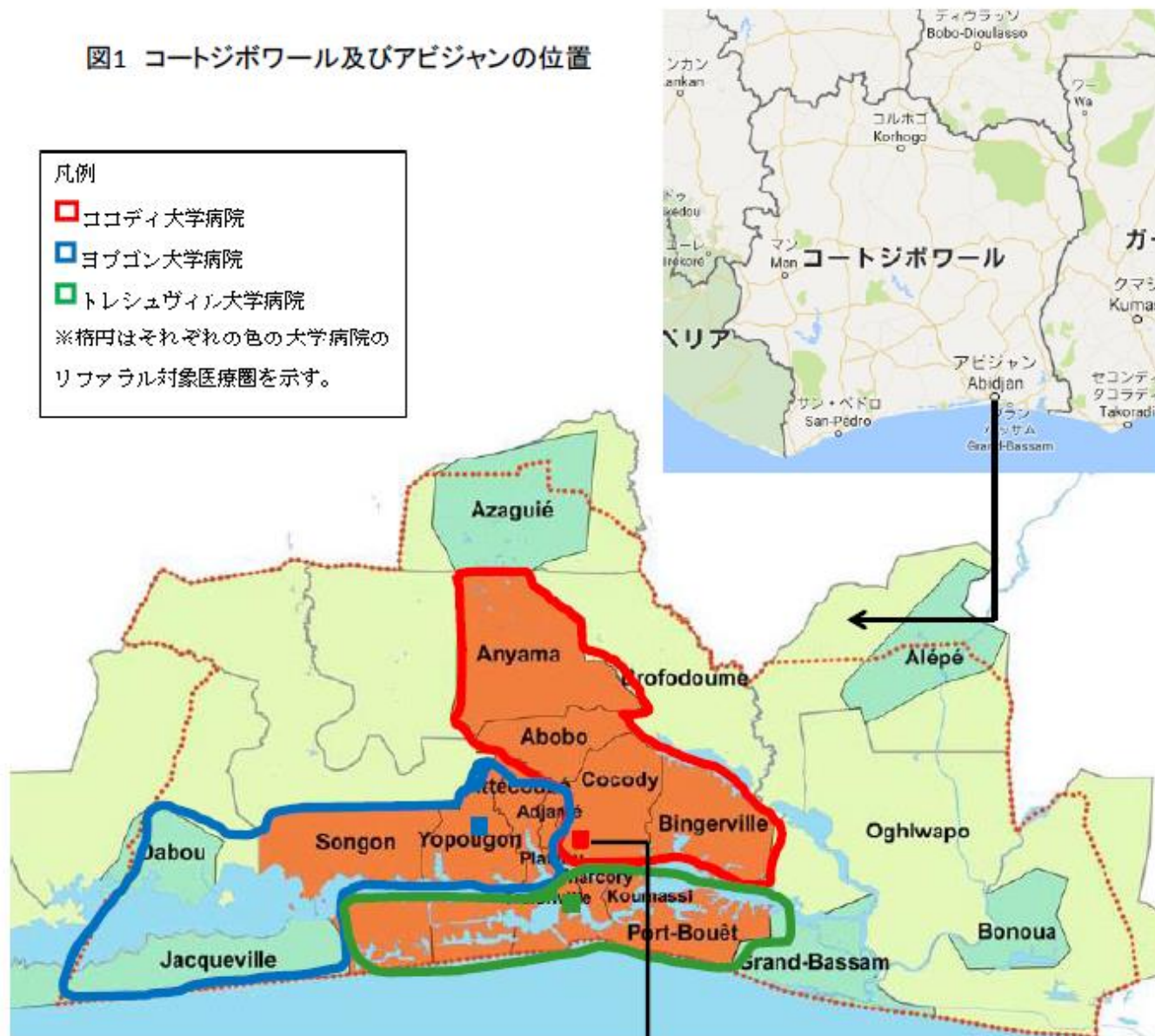


図2 大アビジャン圏(※)及び各大学病院リファラル対象医療圏(※)アビジャン自治区、その周辺6コミューン及びコミューン化されていない群を含む赤字点線で囲んだ地域

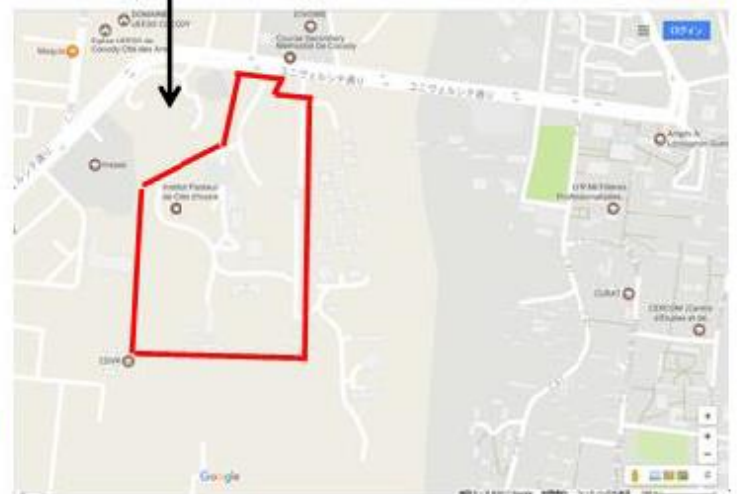


図3 図2の赤四角部分の拡大図(赤枠部分がココディ大学病院敷地)